

半壊以上の記載例

【記入例】修理見積書

(全壊 ・ 大規模半壊 ・ 中規模半壊 ・ 半壊 ・ 準半壊)

※ 市町村が発行する「り災証明書」等に基づき、該当する被害の程度に○をつけてください。

見積金額 (総工事費) 1,650,000 円 (消費税込)

☑ 「住宅の応急修理」申込関係

見積金額(応急修理分)(※1) 655,000 円 (消費税込)

見積金額(被災者負担分) 995,000 円 (消費税込)

例では、応急修理対象分の金額は165万円だが、限度額65.5万円を超えることから、65.5万円を記載する。

Table with 4 columns: 工事名称, 金額 (消費税込), 修理対象分 (消費税込) (※2), 備考. Rows include ① 屋根工事, ② 仮設足場, ③ 天井工事, ④ 窓工事, ⑤ 床工事, ⑥ 合計.

※1 1世帯あたりの限度額を超える場合は、限度額を記載すること

<限度額>全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊の場合： 655,000円の範囲内
準半壊の場合： 318,000円の範囲内

※2 「うち応急修理対象分」欄の金額が、限度額を超える場合、限度額を超える部分についての同欄の記載は「-」としてよい

※3 上表の内訳を添付（修理業者指定の様式で可。）すること

〇〇〇市町長

(※修理業者記入) 上記のとおり見積書を提出します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

Form for repair contractor with fields: 住所, 会社名, 電話番号, 代表者名.

(※修理申込者記入) 上記の見積書を確認しました。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

Form for repair applicant with fields: 住所, 氏名.

(※市町村記入欄)

Table for municipal office with columns: 市町村名, 受付番号, 受付担当者名.